

## ● 株主メモ

決算期日	12月31日
定時株主総会	3月
配当金受領株主確定日	12月31日
公告方法	電子公告の方法により、弊社ホームページに掲載いたします。 ( <a href="http://www.toaoil.co.jp">http://www.toaoil.co.jp</a> ) ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
上場取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

(お知らせ) 住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行株式会社のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)
- ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## ● ホームページ



<http://www.toaoil.co.jp>



環境に配慮した「大豆油インキ」を使用しています。



# 株主の皆様へ

第136期中間ご報告

平成20年1月1日 ▶ 平成20年6月30日

## Contents

株主の皆様へ

中間連結財務諸表

中間単体財務諸表

会社の概況

 東亜石油株式会社

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。  
 当社並びに当社グループの第136期中間期（平成20年1月1日～平成20年6月30日）における営業の概況をご報告申し上げます。



代表取締役社長

吉住 理

営業の概況

当上半期におけるわが国の経済は、世界的な資源価格の高騰が製造業の収益を圧迫し、米国景気の先行き不安が再燃し新興国経済には変調の兆しも浮上するなど「景気は後退局面入りの可能性が強い」との見方が優勢となっております。

石油業界においては、平成20年上半期（平成20年1月～6月）ではジェット燃料油とB・C重油を除くガソリン、灯油、軽油およびA重油の各油種で販売数量が前年同期割れとなり、燃料油合計で昨年に引き続き前年同期実績を下回るなど依然厳しい経営環境が続いております。

当上半期において当社石油事業では、京浜製油所水江工場において触媒更新工事を無事完工するとともに、京浜製油所の各装置は順調な操業を続けております。しかしながら、原油価格が記録的かつ継続的に上昇したため、電気事業で使用する燃料仕入価格が高騰しており、そのため、当該高騰分について東京電力株式会社への電力卸供給価格に契約上十分には転嫁できない状況が継続しております。

当上半期の原油および原料油処理量は4,656千キロリットル（前年同期比8.9%減）となり、連結売上高19,404百万円（前年同期比18.9%増）、連結営業利益643百万円（前年同期比54.1%減）、連結経常利益251百万円（前年同期比77.1%減）、連結中間純利益282百万円（前年同期比53.8%減）を計上することとなりました。

石油事業については、記録的かつ継続的に原油価格が高騰し、石油製品への価格転嫁が進まず石油元売各社の収益を圧迫しております。また、電気事業につきましても燃料代が高騰するなど発電事業者の収益を圧迫する事態となっております。このように、石油事業・電気事業いずれも直面する事業環境が厳しさを増し、勝ち残り生き残りの条件が更に厳しいものとなってきております。

このような事業環境にあって、当社グループとしては今年も引き続きアジア最強の競争力を有する製油所になるというコーポレートビジョンのもと、如何にして製品付加価値を高めることができるのか、如何にしてコストを削減することができるのか、これらの課題にTPM活動（全員参加の生産保全活動、本年はPART-2として展開中であります。）を通じてチャレンジしており、企業間競争に勝ち残り、持続的発展を確固たるものにしていくよう全力を尽くす決意であります。

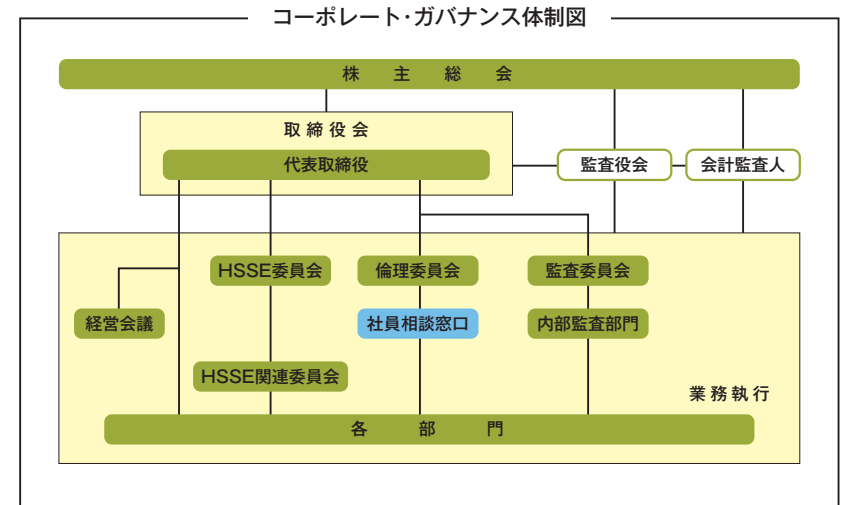
また、当社グループにおいて主要ターミナルとしての位置付けが決定的に重要なものとなっている東扇島オイルターミナル株式会社については、平成20年3月1日を効力発生日として同社を吸収合併しました。これにより当初の計画通り順調に京浜製油所の一体化運営体制を構築しつつあります。

なにとぞ、株主の皆様におかれましては、企業価値を高めるための当社グループの以上のような姿勢に対しまして倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

コーポレート・ガバナンスとコンプライアンス

当社のコーポレート・ガバナンス\*は公明正大で透明性のある経営を行い、迅速な経営意思決定を行える体制を基本としています。

当社は本社と製油所部門を一体とした極力フラットな組織とし迅速な意思決定がされる体制としています。また、経営執行に際してはHSSE委員会等の各種委員会を組織し、全社横断的に十分な審議を行います。これらの組織・体制は社会環境や法的環境の変化に合わせ最適なものを構築して、より効率的で透明性のある経営を目指しています。



内部統制の推進

当社は企業不祥事による企業の損失を防ぐ体制の構築が企業活動の大前提であると考えています。そのため、社会的要請が高まる以前から自主的に行動原則やHSSE等の各種基本方針や諸規程を定め、内部統制システム\*の確立に努めてきました。2006年

には会社法に基づき「内部統制システムの基本方針」を定めました。基本方針に基づき実効的な規程類、組織体制等の構築および運用を行うよう努めています。更に、金融商品取引法（J-SOX法）の財務報告に係る内部統制の評価・報告体制についても2007年初めに、社内にワーキン

ググループを発足させ、当社に適用される2009年1月に向けて財務報告に係る内部統制の仕組みの整備に取り組んでいます。

内部統制システムの基本方針については <http://www.toaoil.co.jp/company/control.html> をご覧ください。

**コンプライアンス**……法令の順守。順守する内容には社会に対して悪影響を与える行為も含まれる。製品・サービスの安全性、公正・透明・自由な競争、公正な情報開示、環境問題、セクシャルハラスメントへの配慮も含まれる。

**コーポレート・ガバナンス**……企業統治。企業がその目的に照らして適正に経営されるように監視し、牽制する仕組み。

**内部統制システム**……企業が公表する財務諸表の信頼性確保、事業経営の効率性の向上、事業経営に係わる法規の順守をうながすために企業内部に設けられた仕組み。

# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

単位：百万円

資産の部			負債の部		
科目	当中間期 (平成20年6月30日現在)	前期 (平成19年12月31日現在)	科目	当中間期 (平成20年6月30日現在)	前期 (平成19年12月31日現在)
流動資産	43,995	48,276	流動負債	64,745	62,566
現金及び預金	3,764	4,353	買掛金	671	605
受取手形及び売掛金	3,698	5,825	短期借入金	27,854	22,048
棚卸資産	2,253	1,997	未払揮発油税等	30,312	31,363
立替揮発油税等	31,827	32,931	賞与引当金	340	332
その他	2,451	3,167	役員賞与引当金	4	10
固定資産	67,276	63,629	その他	5,562	8,205
有形固定資産	(62,580)	(57,776)	固定負債	23,245	25,624
建物	2,693	2,557	長期借入金	16,116	18,032
構築物	9,058	6,444	長期未払金	1,086	1,625
機械及び装置	28,295	27,786	退職給付引当金	1,693	1,625
土地	19,450	19,450	特別修繕引当金	1,987	1,142
その他	3,083	1,538	定期修繕引当金	1,569	2,762
無形固定資産	(287)	(208)	その他	792	435
投資その他の資産	(4,407)	(5,643)	負債合計	87,990	88,190
繰延資産	—	13	純資産の部		
開業費	—	13	株主資本	21,021	21,236
資産合計	111,271	111,918	資本金	8,415	8,415
			資本剰余金	4,687	4,687
			利益剰余金	7,922	8,137
			自己株式	△ 2	△ 2
			評価・換算差額等	561	610
			その他有価証券評価差額金	561	610
			少数株主持分	1,697	1,881
			純資産合計	23,280	23,727
			負債及び純資産合計	111,271	111,918

(注) 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書

単位：百万円

科目	当中間期	前中間期
	(平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)	(平成19年1月1日から平成19年6月30日まで)
売上高	19,404	16,314
売上原価	18,039	14,137
売上総利益	1,364	2,176
販売費及び一般管理費	721	773
営業利益	643	1,402
営業外収益	169	106
受取利息及び配当金	18	16
受取賃貸料	25	73
負ののれんの償却額	105	—
その他	20	15
営業外費用	561	408
支払利息	292	309
固定資産処分損	79	8
その他	188	89
経常利益	251	1,101
特別利益	202	127
前期損益修正益	202	92
投資有価証券売却益	—	29
その他	—	5
特別損失	120	115
環境対策費用	—	115
役員退職慰労金	97	—
その他	23	—
税金等調整前中間純利益	332	1,113
法人税、住民税及び事業税	28	808
法人税等調整額	△ 6	△ 353
少数株主利益	27	47
中間純利益	282	611

(注) 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

## 中間連結株主資本等変動計算書

(平成20年1月1日から平成20年6月30日まで) 単位：百万円

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
平成19年12月31日残高	8,415	4,687	8,137	△ 2
中間連結会計期間中の変動額			△ 497	
剰余金の配当			282	△ 497
中間純利益				282
自己株式の取得				△ 0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)				△ 0
中間連結会計期間中の変動額合計			△ 214	△ 0
平成20年6月30日残高	8,415	4,687	7,922	△ 2

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成19年12月31日残高	610	610	1,881	23,727
中間連結会計期間中の変動額				
剰余金の配当				△ 497
中間純利益				282
自己株式の取得				△ 0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	△ 48	△ 48	△ 183	△ 232
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 48	△ 48	△ 183	△ 447
平成20年6月30日残高	561	561	1,697	23,280

(注) 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当中間期	前中間期
	(平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)	(平成19年1月1日から平成19年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,786	5,088
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,974	△ 769
財務活動によるキャッシュ・フロー	404	△ 4,604
現金及び現金同等物の増減額	△ 784	△ 285
現金及び現金同等物の期首残高	4,845	4,306
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,061	4,020

(注) 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

# 中間単体財務諸表

## 中間貸借対照表

単位：百万円

資産の部		当中間期 (平成20年6月30日現在)	前期 (平成19年12月31日現在)
流動資産		40,001	43,652
現金及び預金		73	83
売掛金		2,926	4,963
補助掛金		1,628	1,315
貯蔵品		549	596
前払費用		254	327
延滞税金		942	487
未立替収入金		1,078	1,103
繰上り税金		31,827	32,931
その他		720	1,843
固定資産		54,036	49,564
有形固定資産		(45,422)	(39,797)
建物		2,188	2,045
構築物		8,252	5,590
機械及び装置		2,538	971
車両運搬具		12,509	11,235
器具備品		15	20
土地		248	240
建設仮勘定		19,450	19,450
無形固定資産		219	243
ソフトウェア		(282)	(190)
その他		276	188
投資その他の資産		5	2
有価証券		(8,332)	(9,576)
関係会社株		2,005	2,006
関係会社債		2,220	3,168
長期前払費用		3	3
関係会社長期前払税金		2,520	2,520
その他		105	110
関係会社長期前払税金		1,381	1,607
その他		96	80
資産合計		94,038	93,217
負債の部		当中間期 (平成20年6月30日現在)	前期 (平成19年12月31日現在)
流動負債		63,092	60,445
買掛金		270	397
短期借入金		26,118	20,312
未払金		469	128
未払法人税等		3,317	4,984
未払消費税等		34	1,195
未払事業税		17	33
未払引当金		1,074	767
未払引当金		30,312	31,312
未払引当金		320	312
未払引当金		3	10
未払引当金		1,153	938
固定負債		10,673	12,164
長期借入金		3,834	4,883
長期未払引当金		1,086	1,625
長期未払引当金		1,582	1,505
長期未払引当金		1,987	1,142
長期未払引当金		1,521	2,572
長期未払引当金		661	435
負債合計		73,766	72,610

(注) 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

## 純資産の部

科目	当中間期 (平成20年6月30日現在)	前期 (平成19年12月31日現在)
株主資本	19,709	19,997
資本剰余金	8,415	8,415
資本準備金	4,687	4,687
利益剰余金	6,610	6,897
利益準備金	499	499
その他利益剰余金	6,110	6,397
繰越利益剰余金	6,110	6,397
自己株式	△ 2	△ 2
評価・換算差額等	561	610
その他有価証券評価差額金	561	610
純資産合計	20,271	20,607
負債及び純資産合計	94,038	93,217

## 中間損益計算書

単位：百万円

科目	当中間期 (平成20年1月1日から平成20年6月30日まで)	前中間期 (平成19年1月1日から平成19年6月30日まで)
売上高	15,387	11,915
売上原価	14,764	10,527
売上総利益	622	1,388
販売費及び一般管理費	496	553
営業利益	126	834
営業外収益	253	231
受取利息及び配当金	142	141
受取賃貸料	25	73
負ののれんの償却額	65	—
その他	20	15
営業外費用	312	165
支払利息	115	101
固定資産処分損	60	5
その他	137	59
経常利益	66	899
特別利益	202	121
前期損益修正益	202	92
投資有価証券売却益	—	29
特別損失	112	115
環境対策費用	—	115
役員退職慰労金	97	—
その他	14	—
税引前中間純利益	156	906
法人税、住民税及び事業税	1	722
法人税等調整額	△ 55	△ 369
中間純利益	210	553

(注) 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

# 会社概要

## 会社の概況

平成20年6月30日現在

商号	東亜石油株式会社
英文商号	TOA OIL CO.,LTD.
設立	大正13年2月6日
資本金	8,415百万円
従業員	492名(連結623名)
本社	〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町3番1号 TEL：044-280-0600

## 役員

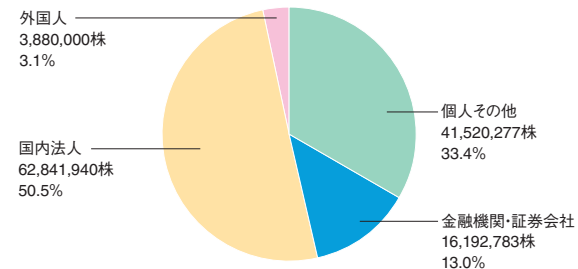
平成20年6月30日現在

代表取締役社長	吉住 理
常務取締役	山本 裕
取締役	山崎 恒
取締役	岡田 智典
常勤監査役	柴田 憲一
監査役	法師人 幸博
監査役	濱元 節

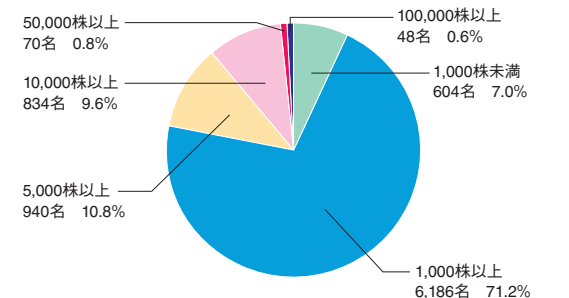
## 株式分布状況

平成20年6月30日現在

### 所有者別



### 所有数別



## 株式の状況

平成20年6月30日現在

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式総数	124,435,000株
株主数	8,682名

## 大株主

平成20年6月30日現在

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
昭和シェル石油(株)	62,344	50.10
(株)みずほコーポレート銀行	4,019	3.22
東京海上日動火災保険(株)	2,184	1.75
角田 博	2,158	1.73
ユービーエス エーजी ロンドン アカウント アイビー ビーセグメント クライアント アカウント	2,003	1.60
三井住友海上火災保険(株)	1,593	1.28
東亜石油従業員持株会	1,526	1.22
住友信託銀行(株)	1,433	1.15
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4)	1,429	1.14
(株)損害保険ジャパン	1,292	1.03